

ごあいさつ

理事長 矢部丈太郎

当財団は、横浜市内の大学や研究機関で研究に携わる方々の研究活動に対する助成を行うことにより、横浜市における学術研究活動の振興を図り、もって広く社会の学術・文化の発展に寄与しております。平成9年に創設されて以降、当財団の助成活動に対する関係者の理解も年々深まり、着実にその成果を上げてきております。

これまでに当財団(旧法人を含む)は、延べ751名の究者に対し、総額1億4,530万円の助成活動を行ってまいりました。2019(平成31)度におきましては、研究助成24名、出版刊行助成4名(受給決定は5名)、海外渡航費助成22名に対し助成を行いました。

学術・教育の振興を図る人材の育成や研究基盤の整備は、我が国経済の持続的な発展にとって喫緊の課題であります。しかしながら、国や地方自治体が財政難の折、経済的利益に直結しないような基礎的な研究や開発に必要な経費は削減される傾向にあります。当財団としては、地域貢献の一翼を担うべく、新時代に向けた先駆的・独創的な研究活動や社会的要請の強い研究活動に対して、これまで以上に充実した支援活動を進めてまいる所存であります。

ご承知のとおり、運用資金に対する利回りは低下しており、このままでは基金の原資はいずれ枯渇することとなります。研究者に対する助成活動の必要性と意義を認識され、できるだけ多くの後継研究者たちが永続してその恩恵に浴することができるよう、当財団へのご寄附をお願いできれば大変幸いです。

このたび、2019年度に助成を行った研究活動の成果を取りまとめた『2019年度助成研究等報告書』を刊行いたしました。ご高覧いただき、今後の研究活動の一助としていただければ幸いです。

目 次

研究助成

<人文社会科学>

| | |
|--|----|
| 英語授業におけるスピーチング練習のインターバル効果の検証：認知心理学の観点から ····· | 1 |
| 神奈川大学国際日本学部・准教授 鈴木 祐一 | |
| 複数の災害リスクを認識可能なマルチハザード評価手法の研究 ······ ······ ······ | 5 |
| 神奈川大学工学部建築学科・助手 落合 努 | |
| 企業のデジタル改革において生じるオンライン・サービス・インターフェースの壁を解消する 諸要因の検討 ······ ······ ······ ······ ······ ······ | 9 |
| 立正大学経営学部専任講師（前横浜市立大学非常勤講師） 金森 孝浩 | |
| ナチズムと日本文化；ドイツ人日本学者たちの思想と政治的活動 ······ ······ ······ | 13 |
| 横浜市立大学都市社会文化研究科・客員研究員 清水 雅大 | |
| 晴眼者が持つ点字学習動機が点字読み書き能力の獲得に及ぼす影響の検討 ······ ······ | 17 |
| 鶴見大学文学研究科・博士前期課程 星野 ゆう子 | |
| 公共図書館におけるマルチメディア DAISY 図書の普及へ向けた調査研究 ······ ······ | 21 |
| 鶴見大学文学研究科・博士前期課程 井上 美紀 | |
| GPS データによる訪日外国人観光客のニッチ行動の抽出可能性の検討 ······ ······ | 25 |
| 横浜市立大学国際教養学部・准教授 有馬 貴之 | |
| スタートアップ・エコシステムのネットワーク分析 ······ ······ ······ ······ | 29 |
| 横浜市立大学国際商学部・准教授 芦澤 美智子 | |
| 子どもの国際スポーツイベント観戦と横浜市のスポーツ振興における実証研究 ······ ······ | 33 |
| 横浜市立大学国際商学部・准教授 柴田 典子 | |
| 大学教育におけるデザイン思考適用の教育プロセスの開発 ······ ······ ······ | 37 |
| 横浜市立大学国際商学部・准教授 永松 陽明 | |
| 世界政府論の可能性と課題に関する学際的研究 —持続可能な地球社会を実現するために— ··· | 41 |
| 横浜市立大学国際教養学部・教授 上村 雄彦 | |
| 日韓地方自治体の福祉財政に関する比較研究 —横浜市と仁川広域市との比較を中心に— ··· | 45 |
| 横浜市立大学国際商学部・教授 鞠 重鎧 | |

<自然科学>

| | |
|---|----|
| 保育支援のための子どもたちの行動分析及び心的状態推定システムの開発 ······ | 49 |
| 神奈川大学工学部・特別助教 張 賴 | |
| 持続可能な社会のための再生可能な有機ヒドリド試薬の創製 ······ | 53 |
| 神奈川大学工学部・特別助教 松原 康郎 | |
| 強度とリサイクル性を兼ね備えたホウ酸エステル構造に基づく環境低負荷ハイブリッド材料の創製 ······ | 57 |
| 神奈川大学工学部・特別助教 高橋 明 | |
| “微・微生物”の探索：横浜の海から展開する超微小微生物の生態研究の最前線 ······ | 61 |
| 横浜市立大学理学部・助教 守 次朗 | |
| 次世代材料応用へ向けたタンパク質結晶の力学特性の解明 ······ | 65 |
| 横浜市立大学理学部・助教 鈴木 凌 | |
| 生体内分子イメージングを志向した発光プローブの創製 ······ | 69 |
| 横浜市立大学理学部・助教 服部 伸吾 | |
| 創薬シーズとして有望な天然有機化合物の新規構造決定法の開発 ······ | 73 |
| 横浜市立大学理学部・助教 入江 樂 | |
| ハイパー・ランチポリマーを含むジブロック共重合体の自己組織化による新規ナノ構造体の創製 ······ | 77 |
| 神奈川大学工学部・特別助教 太田 佳宏 | |

<医 学>

| | |
|---|----|
| 乳腺幹細胞における新規のリン酸化シグナル伝達の解明と乳がん治療への展開 ······ | 81 |
| 横浜市立大学医学部医学研究科・助教 佐々木 和教 | |
| 中枢神経原発悪性リンパ腫の患者由来細胞株を用いた NF-kB 経路を標的とした治療の開発 · | 85 |
| 横浜市立大学医学部医学研究科・助教 三宅 勇平 | |
| 肥満者の特性を活かした新たな創傷ケア確立に向けて -皮膚における Leptin シグナル伝達分子の解析- ······ | 89 |
| 横浜市立大学医学研究科看護学専攻・博士前期課程 長尾 晏寿美 | |
| 手術後患者に潜む「不快」に関する関連因子の探索 ······ | 93 |
| 横浜市立大学医学研究科看護学専攻・博士前期課程 芝 紘一 | |

出版刊行助成

| | |
|--------------------------------|-----|
| イエス運動・マルコ・哲学 | 97 |
| 横浜市立大学国際教養学部・教授 三上 真司 | |
| 都市と農の民俗 一農の文化資源化をめぐって | 99 |
| 神奈川大学歴史民俗資料学研究科・教授 安室 知 | |
| 英国の地域政策 | 101 |
| 横浜市立大学・非常勤講師 石見 豊 | |
| 清末の中国人日本留学生に関する研究 一主に留学経費の視点から | |
| 神奈川大学外国語学部・非常勤講師 胡 頤 (後日公開) | |

※ 出版刊行助成決定者 5 名のうち 1 名は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた出版業界の環境変化により出版を断念せざるを得ず受給を辞退しました。

成助費航渡海外

| | |
|---------------------------------|-----|
| 第 235 回アメリカ電気化学会講演大会 | 103 |
| 神奈川大学工学部工学研究科・博士前期課程 渡邊 達也 | |
| 第 23 回計算機科学と技術に関する国際シンポジウム | 105 |
| 横浜市立大学理学部理学科・准教授 野々瀬 真司 | |
| FASEB 科学研究会議・疾病関連の可逆的蛋白質アシル化の会議 | 107 |
| 横浜市立大学生命医科学研究所・助教 小沼 剛 | |
| 純正応用化学に関する国際会議ヤンゴン 2019 | 109 |
| 横浜市立大学理学部・教授 及川 雅人 | |
| 第 3 回国際言語文化教育会議 | 111 |
| 横浜商科大学商学部・准教授 東本 裕子 | |
| 第 27 回爆発と反応系の動力学に関する国際会議 | 113 |
| 横浜国立大学理工学府・博士前期課程 川名 陽大 | |
| 国際純正応用化学会議ヤンゴン 2019 | 115 |
| 横浜国立大学工学研究院・助教 橋本 徹 | |
| 第 11 回国際老年学会アジア・オセアニア部会 2019 | 117 |
| 横浜国立大学環境情報学府・博士後期課程 渡邊 知行 | |

| | |
|--|-----|
| 第 11 回国際老年学・老年医学学会アジア/オセアニア地域会議 | 119 |
| 横浜国立大学環境情報学府・博士後期課程 池水 亜由美 | |
| 第 13 回オーストラリアペプチド会議 | 121 |
| 横浜国立大学理工学府・博士前期課程 大山 晓史 | |
| 第 36 回国際電気推進会議 | 123 |
| 横浜国立大学理工学部・博士前期課程 古家 遼 | |
| 第 36 国際電気推進会議 | 125 |
| 横浜国立大学理工学府・博士前期課程 佐藤 陽亮 | |
| 2019 年度猛禽類研究財団年会 | 127 |
| 横浜国立大学環境情報学府・博士後期課程 夏川 遼生 | |
| アジアヒューマンサービス国際会議 | 129 |
| 関東学院大学看護学部・助教 大元 廉子 | |
| 第 32 回衝撃波国際シンポジウム | 131 |
| 横浜国立大学理工学府・博士後期課程 青野 淳也 | |
| 第 46 回リーズリヨン トライボロジーシンポジウム | 133 |
| 関東学院大学工学研究科・博士前期課程 岸田 晃直 | |
| 第 18 回北京国際学術会議・展示会 BCEIA2019 | 135 |
| 横浜国立大学工学研究院・准教授 川村 出 | |
| 第 32 国際衝撃波シンポジウム | 137 |
| 横浜国立大学理工学府・博士前期課程 藤本 剛史 | |
| スポーツ数学国際会議 | 139 |
| 慶應義塾大学体育研究所・専任講師 鳥海 崇 | |
| ポートランド公立学校日本語イマージョン教育プログラムの継続要因に関する一調査 | 141 |
| 横浜国立大学教育学研究科・博士前期課程 勝 成仁 | |
| 2019 年マレーシア・シンガポール研究討論会 | 143 |
| 関東学院大学工学研究科・博士前期課程 三和 恵央 | |
| 第 6 回画像電子学会国際大会 | 145 |
| 横浜商科大学商学部・特任講師 木村 登志子 | |